

## 市民の会のご紹介

< Web サイト「いるまなびと」 <https://irumanabito.net/> >



入間市生涯学習をすすめる市民の会（略して、市民の会）は、いるまなびとのみなさんに、入間市内の学び情報を提供すると共に、みなさんの学びを支援しています。これまでの活動実績や会の設立経緯・組織・会員などもご紹介します。



### 現在の主な活動

#### 生涯学習フェスティバル推進

1995 年以来、毎年 12 月頃に実施する生涯学習フェスティバルの実行委員会（市民＋行政職員）のメンバーとして、私たちはフェスの企画／運営に携わっています。2020 年には特別企画「フェス四半世紀の回顧」を開催しました。

#### 学びの仕組みづくり、学びの場の提供

市民の会は、生涯学習プラン 21 を基に活動を進めています。中長期の推進計画に関与すると共に、まちの先生講座など市民の学びの場を提供するための仕組みづくりを推進しています。さらに、市民の学習成果や、市民が持つ知識や経験をまちの先生として地域で活かせるように、「まちの先生リスト」を作成しています。このリストの有効活用を目指して、まちの先生が企画する「まちの先生講座」を毎年、計画／実施しています。

#### 情報発信、Web サイト運営

市民の皆さんにまなび情報を広く提供しています。生涯学習掲示板の設置／運営、また広報誌「生涯学習通信」やサークル教室情報「学びの場」の編集／発行を行っています。何か始めたい、学びたいと思ういるまなびとの皆さんには、Web サイト「いるまなびと」で各種の情報を提供しています。



－ 【いるまなびと】 入間＋学び＋ひと(市民)から成る造語。ナビ（案内）の意味も含む

# 協働・組織・会員



## 市民と行政の協働

私たち、入間市生涯学習をすすめる市民の会は、いるま生涯学習プラン21（入間市生涯学習推進計画）を基に活動を進めています。市民の学習支援を目指して、「市民と行政がそれぞれの強みを持ち寄って両輪として活動する」という協働の意図のもとに1995年に設立した市民のボランティア活動組織です。

- |           |   |
|-----------|---|
| 1993/10 : | 生涯学習の推進に関する調査・検討を行う庁内の連絡会設置                         |
| 1994/05 : | 生涯学習に関する市民意識調査を実施                                   |
| 1995/01 : | 生涯学習に関する市民意識調査を実施                                   |
| 1995/05 : | 生涯学習推進組織として、行政側に「生涯学習推進会議」、市民側に「入間市生涯学習をすすめる市民の会」設置 |

## 現在の組織

年度活動報告および次年度活動計画などを年1回審議する総会、および毎月開催する定例会を軸に、部会およびPT（プロジェクトチーム）が具体的な活動を推進します。現在の部会およびPTは以下の通り。なお、事務局は、入間市教育委員会社会教育課内にあります。

- 広報部会
- 企画講座部会
- 生涯学習フェスティバルPT
- 視察研修PT



## 会員、協力委員について

市民の会の会員は、市民公募で任期2年、25名以内。役員は、会長1名、副会長若干名、部会長（PT長）若干名、会計2名、監査2名。また会員とは別に、各自の得意分野で活動を支援する協力委員の制度も設けています。現在、会員数9名、協力委員9名。

## これまでの活動実績

私たちの活動は、生涯学習推進施策への提言・協力、学習情報の収集・提供、生涯学習に関するネットワークづくり、講座開設やイベント等の支援、生涯学習フェスティバル企画・運営など、多岐に亘っています。これらを以下にご紹介します：



なお、市民の会はこれらの諸活動を行うにあたり、会自ら企画を立案し、事業の運営を行っています。事業等の運営費に関しては、市の補助金によって対応しています。

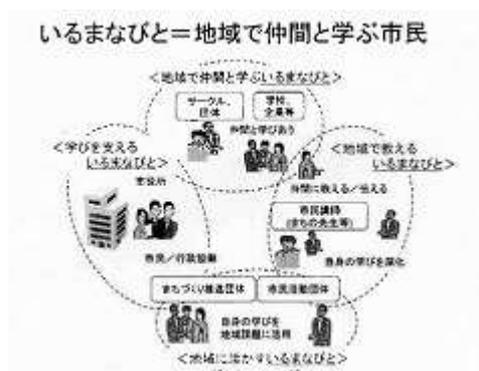
### いるま生涯学習フェスティバル企画・運営

1995年度、市民の会発足と同年に開催された第1回いるま生涯学習フェスティバルより、主催者の1つとして企画・運営を行ってきました。いるま生涯学習フェスティバルの運営・参加を通じて、「子育て」・「地域福祉」・「大学や高校と地域の連携」・「まちづくり」などといった、新たなネットワークや団体ができています。



### 生涯学習推進施策への提言と仕組みづくりの検討

いるま生涯学習プラン 21（入間市生涯学習推進計画）策定に参画し、2017年4月、第4次入間市生涯学習推進計画を策定しました。この推進計画では、地域で仲間と学ぶ市民「いるまなびと」の表現を用いて、市民の学びの輪を地域や周囲に拡げ、更には地域課題の解決等へ役立てる基本方針をまとめています。この基本方針に基づき、市民の会では今、いるまなびとを増やしていく共通的な仕組みづくりを一步一步進めています。



## 「いるま学びの場」の発行

市内の公的施設で活動している団体・サークルの他、民間施設での教室等の情報を提供している冊子です。情報の件数約 1200 件で 700 冊発行し、公的施設や市内の病院、店舗等に設置しています。

## 「生涯学習掲示板」の設置

市民団体主催事業のチラシやポスターを掲示できる掲示板を市内に 10 ヶ所設置しています。掲示板はすべて市民の手による作品で、これらの維持保全・活用促進を進めています。



## 「まちの先生リスト（市民講師リスト）」 および、まちの先生講座の企画、運営

市民の学習成果や、市民が持つ知識や経験をまちの先生として地域で活かせるように、「まちの先生リスト」を作成しています。このリストの有効活用を目指して、まちの先生が企画する「まちの先生講座」を毎年、計画／実施しています。



## 会員のレベルアップのための視察・研修

毎年 1 回、生涯学習活動を積極的に進める拠点を訪問して意見交換し、そこで得たものを会の事業に取り入れています。また不定期に PC やタブレット研修など、会員が活動を進める上で必要なスキルを高めるための研修を行っています。

